

日本医療マネジメント学会
第11回京滋支部学術集会
一般演題教育Ⅱ(人材育成Ⅱ)

京都テルサ第6会場3F D
2014年2月15日(土)
10:30~11:24

禁煙指導者養成とともに職員喫煙率低減化 を目指したチーム医療としての禁煙推進活動

近江八幡市立総合医療センター

¹診療部、²看護部、³情報管理課、⁴臨床検査科

細川洋平¹、松尾宏俊¹、西澤嘉四郎¹、立川弘孝¹、森 博美²

片山初美²、田中郁子²、寺田るみ子²、田邊 智³

田中知代⁴、平野香澄⁴、宮下浩明¹、槇 系¹

目的

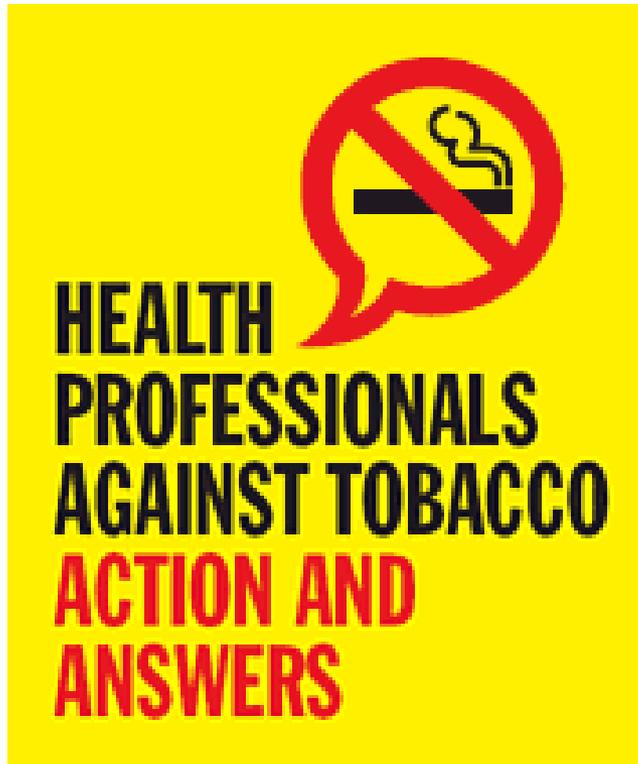
敷地内完全禁煙を標榜しても患者、訪問者による敷地内喫煙行動を完全に制御することは今なお困難である。

一方、職員の喫煙行動はニコチン離脱症状による集中力低下、勤務時間内敷地外喫煙行動による短時間職場離脱を招く。

医療安全対策・労働安全衛生対策上、職員喫煙率低減化を一つの指標として禁煙推進活動を進めてきた。

タバコ対策における医療従事者の使命

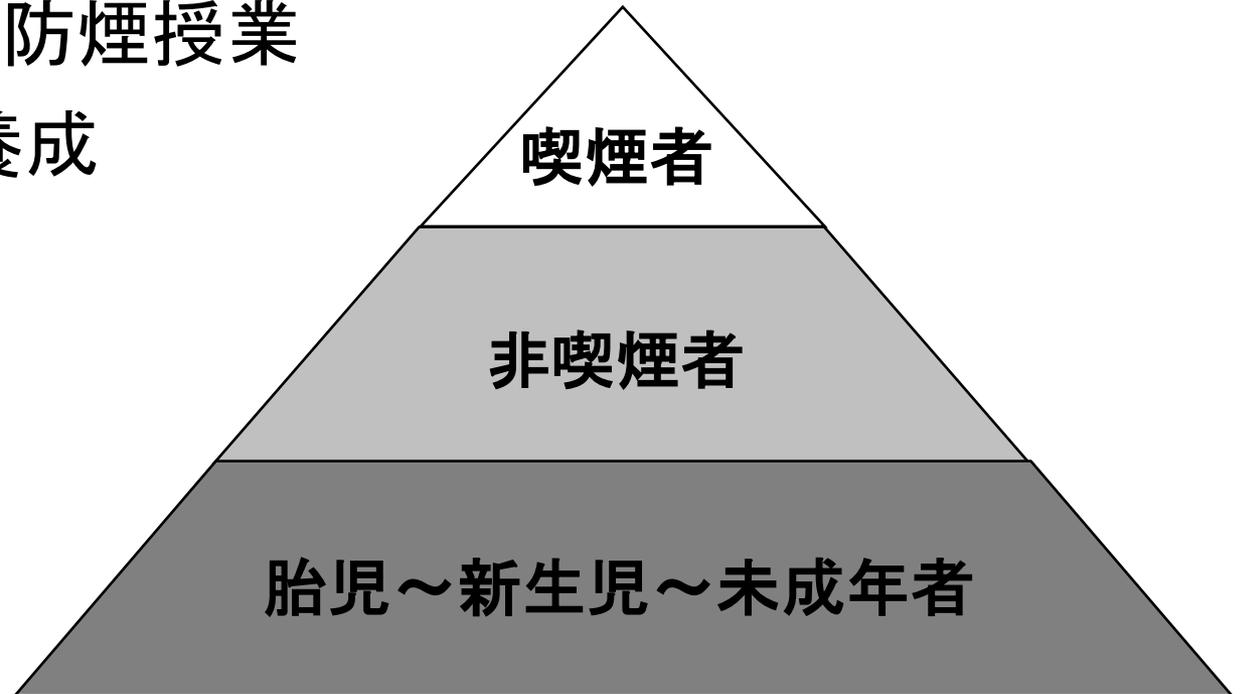
2005年WHO世界禁煙
デーのテーマ



- 禁煙の率先垂範
- 全ての喫煙者に対して、禁煙するよう強く忠告し、希望者に対して禁煙治療する
- タバコ対策のオピニオンリーダーとして政府・自治体などに積極的タバコ対策を推進するよう働きかける

禁煙支援活動の基本戦略

- 喫煙者への禁煙治療
- 喫煙者への禁煙啓発活動
- 非喫煙者への受動喫煙防止啓発活動
- 地域における防煙授業
- 禁煙指導者養成



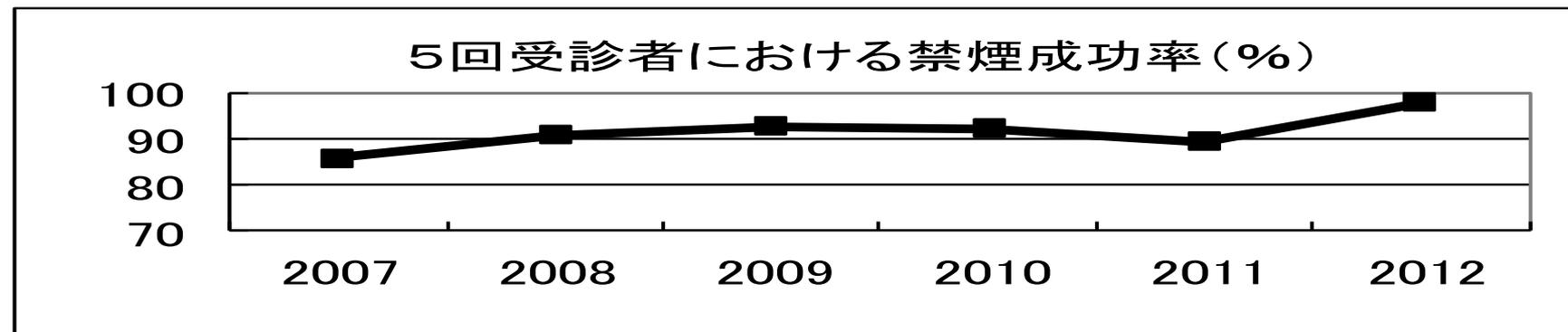
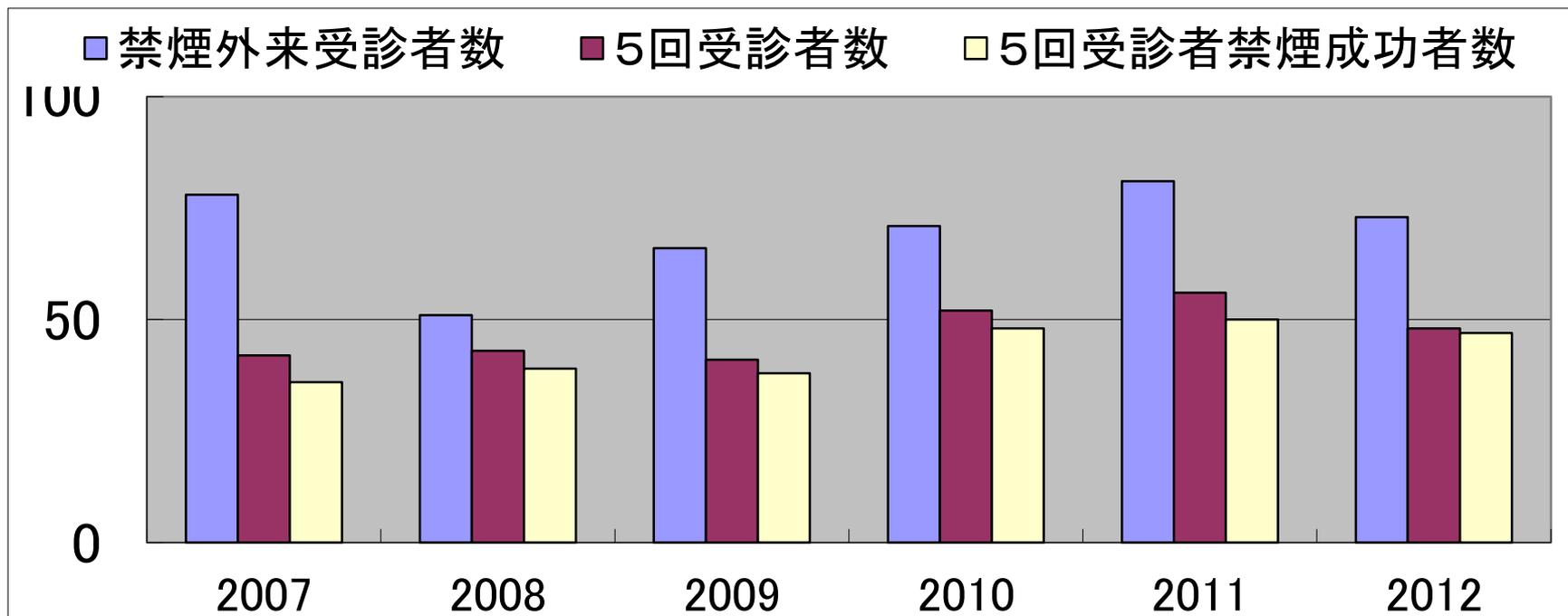
方法

1. 2007年、院内横断的に有志を募り、卒煙支援チームを結成。

2. チームで青少年、成人へのスモークフリー活動を展開。

- ①標準的禁煙治療
- ②病棟での禁煙指導
- ③院内ポスター掲示
- ④世界禁煙デー関連健康公開講座実施
- ⑤研修医を含めた新採用職員への禁煙教育
- ⑥入院患者看護記録における能動・受動喫煙歴記載充実
- ⑦病院・職員互助会主催会合・旅行での禁煙ポリシー遵守
- ⑧地域医師会と連携しての地域健康フェスティバル
- ⑨小学校、中学校、高校での防煙授業
- ⑩地域文化祭における禁煙支援コーナー実施
- ⑪地域の公民館、企業、役場組合で禁煙啓発講演会実施
- ⑫スモークホスピタルニュース発行により情報発信
- ⑬2012年度から院内労働安全衛生委員会「職員の喫煙率の低減化」

禁煙外来治療成績(2007-2012)



卒煙支援活動

- 禁煙外来開設(2005年～)
- 病棟での卒煙支援(2007年～)
- 卒煙支援ポスター掲示(2007年～)
- 病院・職員の会合・旅行での禁煙ポリシー遵守(2007年～)
- 研修医・新採用職員への防煙・卒煙支援教育(2008年～)
- 入院患者看護記録への能動・受動喫煙歴記載(2008年～)
- 世界禁煙デー市民公開講座(2011年～)
- 労働安全衛生委員会年間計画の柱の一つとして「職員の喫煙率の低減化」(2012年～)



院外卒煙支援活動

- 地域医師会・薬剤師会連携で地域健康フェスティバルにおける卒煙支援コーナー実施
- 地域少年センター連携あるいは直接の依頼で、幼稚園保護者会、小学校～高校で防煙授業実施
- 地域文化祭・体育祭に出動し、卒煙支援コーナー実施
- 近江八幡市役所生涯学習課、保健センター連携、あるいは直接の依頼で地域公民館、企業、役場組合での防煙教室実施
- 近江八幡市三師会への「子どもの受動喫煙防止のためのタバコフリー憲章」の提言



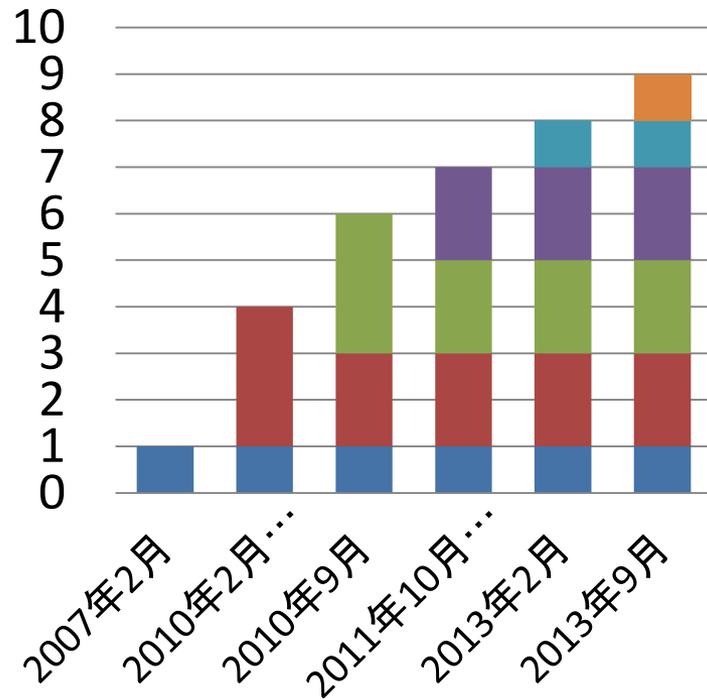
防煙教育2006-2010

1. 竜王中学校(162名)
2. 近江兄弟社中学校(326名)
3. 近江八幡市立看護専門学校(68名)
4. 豊日中学校(60名)
5. 滋賀女子短大(300名)
6. 八幡中学校(196名+186名)
7. 八幡東中学校(192名)
8. 安土幼稚園(40名)
9. 八幡商業高校(600名)
10. 安土中学校(96名)
11. 安土小学校(172名)
12. 近江八幡市立看護専門学校(78名)
13. 京都衛生専門学校(60名)
14. 多賀中学校(72名)
15. 豊日中学(50名)
16. 竜王小学校(76名)
17. 馬淵小学校(26名) 【合計2664名】



人材育成

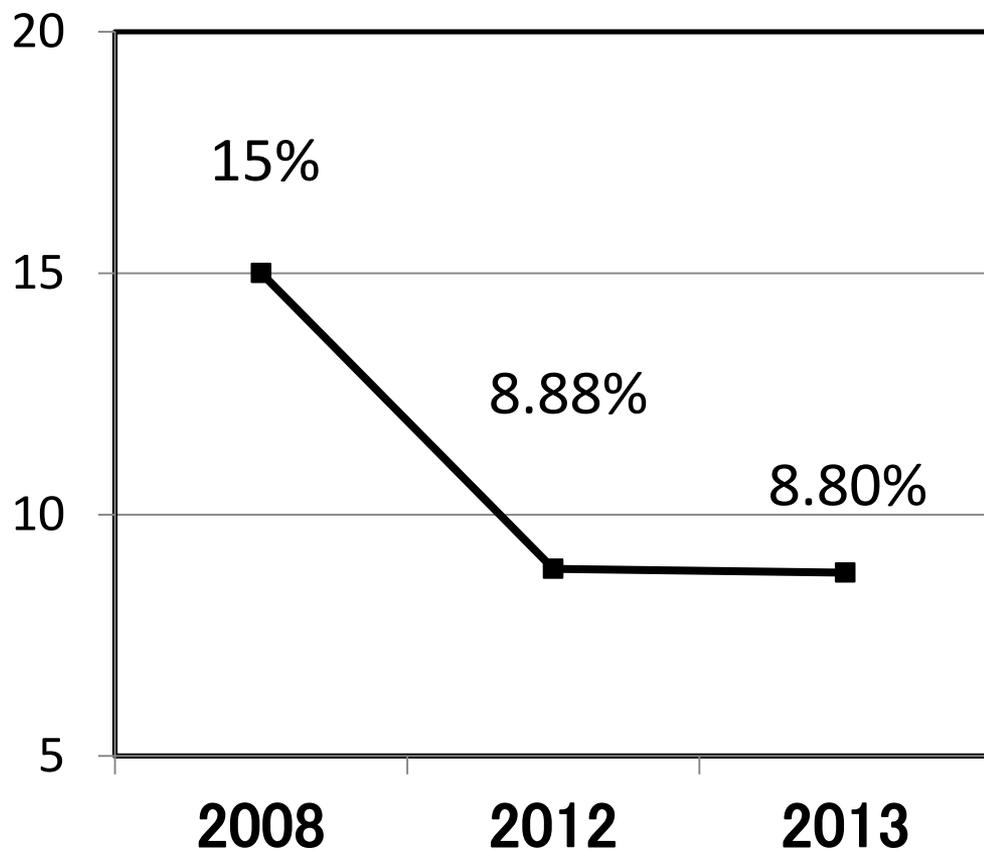
日本禁煙学会認定 禁煙指導者・禁煙専門指導者



資格取得年月	職種	数
2007年2月	医師	1
2010年2月	看護師	3
2010年9月	看護師・薬剤師	3
2011年10月	看護師	2
2013年2月	診療情報管理士	1
2013年9月	看護師	1

職員喫煙率低減化

職員喫煙率2008-2013 (%)



職員喫煙率(2013年)

部署	人数	喫煙者数	喫煙率 (%)
診療部	106	11	10.37
医療技術部	113	10	8.85
看護部	422	33	7.82
事務部	68	8	11.76
病院職員	709	62	8.74
委託業務職員	269	24	8.92
全体	978	86	8.80

個々が、全体がPDCAサイクル



まとめ

- 医療者の使命として禁煙治療、院内外での受動喫煙防止活動にチームとして取り組んできたが、医療安全、労働安全衛生の観点から、職員喫煙率低減化にも取り組み、一定の成果を上げてきた。
- 多彩な活動を展開してきたが、個々の取り組みについて絶えずPDCAサイクルを回すことに努め、失敗、不都合さから学び、改善する意識を維持することで病院全体に禁煙の風土が醸成されてきた。
- 保健センター、少年センター、市役所、医師会、薬剤師会、等、地域の方々とも連携し、関わる人々が学び、成長することを常に念頭に置いている。